



ふくしま教育ニュース

2020年7月 第54号 編集・発行 福島県教育委員会

令和3年4月に2つの統合高校が開校します!

～ 喜多方高校と喜多方東高校を統合して～

新たに **喜多方高等学校** となります。

普通科1学年5学級(200名)

アドバンス探究コース / スタンダード探究コース / キャリア探究コース

「**進学指導重点校**」に位置づけ、**県内初の全日制普通科単位制の高校!!**

さらに!**コース制**の導入により幅広い進路希望を実現します!

単位制の特徴

- ・自分の進路希望に合わせた科目選択が可能になります!
- ・充実した教員の配置により、丁寧な指導が受けられます!

各コース(案) (目指す進路に合わせて選択) **目指せ!**



*スタンダード探究・キャリア探究の各コースでは、共通の科目の履修に加えて、スポーツ、芸術、家庭などの専門科目を選択することが可能です。

～ 小名浜高校といわき海星高校を統合して～

新たに **小名浜海星高等学校**

1学年5学級(200名) となります。

普通科1学級 / 商業科1学級 / 水産科3学級

「**職業教育推進校**」に位置づけ、**県内唯一の水産科がある多学科の高校!!**

学科間で連携した学習により深い学びを実現します!

学科間連携

学科間で連携・協力しながら海の幸を活用して商品開発し、流通させる6次化に対応した学習活動を実践します。

普通科 (40名)

進学・教養の2つのコース制

大学進学・企業就職等

商業科 (40名)

情報・会計・マーケティングの3分野を学習

企業就職・大学・専門学校等への進学

水産科 (120名)

1学級の中で2つの学科
海洋科 20名
情報通信科 20名

海技士(航海)
無線通信士

3学級で4学科を設置!

食品システム科 40名

企業就職等

海洋工学科 40名

海技士(機関)

令和2年4月 県立相馬支援学校新校舎で教育活動開始!

県立相馬支援学校は、施設の老朽化と児童生徒の増加に伴い、教育環境のさらなる充実を目指し、地元自治体の御協力を得て、相馬市から南相馬市に校舎を新築移転しました。

4月8日(水)に、新校舎で初めての入学式・始業式を行い、小学部4名、中学部6名、高等部17名の新入生を迎え、全校児童生徒110名で教育活動をスタートしました。

新校舎の整備により、児童生徒の自立と社会参加に向けた教育の一層の充実を図るとともに、センター的機能を発揮しながら地域の特別支援教育の中核的な役割を果たしてまいります。



【相馬支援学校新校舎】

令和2年度から、県内の小学校・中学校で

ふくしまの学校キラリ学力向上プロジェクト

がスタート
しました。

県教育委員会は、各学校がそれぞれの教育課題を明確にし、独自のアプローチで児童生徒一人一人の学力向上に向けた実践的な取組を支援しています。

令和2年度ふくしまの学校キラリ学力向上プロジェクトは、3つのキラリ校タイプで実践しています。

キラリ校
タイプ①

教科担任・タテ持ち推進校

小学校では教科担任制、中学校では教科タテ持ち制による授業実践を展開します。それらの取組により、教員同士の学び合う環境の醸成や校内研修の充実を目指し、教員の授業改善及び指導力向上につなげることで児童生徒の学力向上に結び付けます。「授業スタンダード」のさらなる活用も図っていきます。



【授業研究会の様子】

キラリ校
タイプ②

小学校英語推進校

ふくしまの復興を担う児童を育成するために、外国語教育を専門とする「ふくしま外国語教育推進リーダー」の育成と活用を通して、県内の小学校において質の高い外国語教育の実践を目指します。「ふくしま・イングリッシュ・コンパス」等の活用も図りながら、外国語教育のさらなる充実につなげていきます。



【ふくしま・イングリッシュ・コンパス】

キラリ校
タイプ③

AI時代を生き抜く読解力向上事業研究協力校

「リーディングスキルテスト」受検により児童生徒の基礎的読解力の実態を把握し、データの活用を基にした「どうしたら読めるようになるのか」の実践研究を通して、児童生徒の基礎的読解力の向上を図ることを目指していきます。また、研究協議会を開催し、指導方法等の共有を図りながら授業改善につなげていきます。

各学校の特色や実態に基づき、学校全体で協働しながら“キラリ”と光り輝く魅力的な学校づくりに取り組んでまいります。

令和元年度 ふくしま高校生社会貢献活動コンテストを開催しました。

令和元年12月15日(日)、福島大学において、「令和元年度ふくしま高校生社会貢献活動コンテスト」本選を開催しました。予選を通過した県内各地の12グループが一堂に会し、ボランティア・復興・まちおこし・製品開発など、高校生が実践した社会貢献活動について発表しました。

福島県内の高校生の社会貢献活動はとても活発で、主体的な課題発見・解決型の学習や、体験型の学習としても注目されています。

発表内容を
紹介します！

ふたば未来学園高校 健康と福祉ゼミ 美容グループ 「美容でいきいきプロジェクト」

(最優秀賞受賞)

高齢者にメイクをすることで、高齢者が外出したいという意欲を高めるきっかけづくりをし、高齢者の健康寿命を延ばすことを目的に立ち上げられました。生徒たちが高齢者施設を訪問し、コミュニケーションを重ね、高齢者から感謝されたといった活動が報告されました。

岩瀬農業高校 ヒューマンサービス科

「岩農版 こども食堂への挑戦」

(福島大学アドミッションセンター長賞受賞)

子どもたちの「食の貧困」の克服に向けて、肉や野菜などの栄養をバランスよく楽しみながら摂れるようにするための活動です。バイキング方式の採用や、野菜ソムリエとのコラボ活動などといった工夫が報告されました。



発表の様子



参加者記念撮影

今後も、こうした発表の機会を設けて、地域の活性化に貢献する高校生の活動を発信・表彰することで、次代を担う人材育成を推進してまいります。

ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト～健康マネジメントプラン～

◆今こそ「自分手帳」を効果的に活用し、自己マネジメント力を育みながら、健康課題を解決しましょう◆

1. 「自分手帳」とは？

- 震災・原発事故後の子どもの健康課題を解決するために、県教育委員会が平成 27 年度に作成した手帳です。
- 「運動」「健康」「食生活」の 3 つの内容で構成され、生活習慣の改善に主体的に取り組めるよう構成しています。
- 毎年、小学校 4 年生に配付し高校 3 年生まで継続して活用します。
- 各学校では家庭と連携し、様々な教育活動の場面で実態に応じた効果的な活用を図っています。



2. 作成の背景は？

【東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所の事故】
屋外活動の制限や風評の影響

- 体力・運動能力の低下
- 食習慣の乱れ
- 肥満傾向児の増加

学校と家庭の連携による、具体的な取組が必要

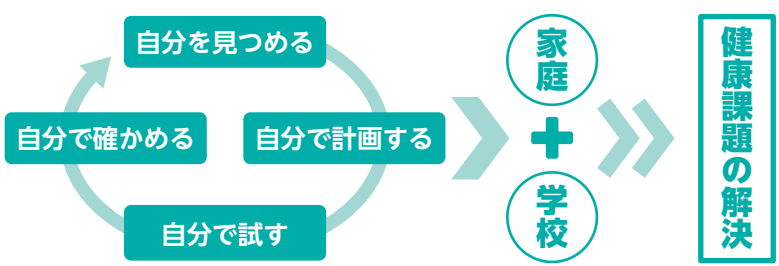
※新型コロナウイルス感染拡大防止のために、断続的な学校の臨時休校が余儀なくされました。体力・運動能力の低下、食習慣の乱れ、肥満傾向児の増加など、9年前と同じ健康課題が顕在化することが予想されます。今こそ、「自分手帳」を効果的に活用しましょう。

3. 未来に生きる子どもたちに「育みたい力」



- 【自己理解・自己管理能力】
 - 自己の生活習慣を見つめ、健康課題に気づき行動できるようにします。
- 【情報分析力】
 - 調査の結果等と生活習慣の関係を探り、原因を把握できるようにします。
- 【課題解決力】
 - 目標設定、行動、振り返りのサイクルで課題を解決できるようにします。

4. 「自分手帳」活用によるマネジメントサイクル



5. 活用のお願

- ご家庭では、お子さんの成長とともに変化する健康状態や体力等の推移を把握し、学校との具体的な連携をお願いします。
- 学校から手帳への記入や内容の確認を依頼された場合には、ご協力をお願いします。
- 高校 3 年生まで継続して使用しますので、紛失しないようご注意ください。紛失した場合は、県教育庁健康教育課の HP からダウンロードできますが、販売はしていません。



「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」

作品募集

子どもと大人、子どもと子どもが「ペア」となり、日常生活などでの共通体験をととした「絆部門」、震災体験、復旧・復興に関する「復興部門」、ふくしまへの思いを表現した「ふくしま応援部門（県外在住の方のみ応募可能）」に作品をお寄せください。

募集期間 令和2年6月15日(月)～8月31日(月)

応募方法 所定の応募用紙を使用してください。(コピー可)
※社会教育課のホームページからダウンロードできます。

応募先 各学校、市町村教育委員会、公民館、または各教育事務所
県外在住の方は、福島県教育庁社会教育課
※詳しくは、社会教育課のホームページをご覧ください。

福島県 十七字

検索

令和元年度最優秀作品より

〔絆部門〕
やきんのひはたらく母を
まつわたし(小学一年生)

あと少し母に戻れる
待っててね(母)

〔復興部門〕
しよっぱいな八年ぶりの
波しぶき(小学四年生)

あの時はお座りしてた
砂の上(母)

令和2年度中学生・高校生の科学・技術研究論文

「野口英世賞」募集

科学する心の育成を図り、明日の社会の発展を担う優れた人材を育成するため、科学及び技術に関するテーマに基づく研究論文を募集します。

- ◆募集対象 県内の中学校(含む中学部)・高等学校(含む高等部)の生徒 ※中学校には、義務教育学校後期課程を含みます。
- ◆募集期間 令和2年9月1日(火)～9月9日(水)(必着)

福島県義務教育課

検索

令和2年度中学生・高校生の国際理解・国際交流論文

「朝河貫一賞」募集

国際性豊かな人材の育成を目指して、国際社会における在り方・生き方等についての論文を募集します。

福島県高校教育課

検索

LINEで相談しませんか?

県では、LINEを活用した相談窓口「ふくしま子どもLINE相談」を開設しています。

LINEで、児童生徒のみなさんの不安や悩みを、臨床心理士等の資格を持っている専門家に相談することができます。

対象 県内公立学校の児童生徒 **相談受付** 毎日17:00～20:40(相談は21時まで)

相談方法 LINEのトーク画面で相談
学校から配付されたチラシに載っているQRコードを読み取る ⇒
友だち登録 ⇒ 今年度のパスワードを入力する ⇒ 相談開始

※相談内容によっては専門機関と情報を共有することがあります。



令和元年度までに友だち登録をしている人も、今年度の相談の最初に1回だけ、パスワードを入力してください。パスワードは配付チラシに載っています。



相談窓口のお知らせ

いじめ、不登校、体罰などの様々なお悩みに対する相談窓口を開設しています。一人で悩まず、お電話ください。悩みを抱えているお子さんや保護者の方が対象です。

〈いじめ問題や不登校、体罰などの教育相談電話〉月～金 10:00～17:00

「ダイヤルSOS」

0120-453-141

〈子どものための24時間電話相談〉24時間いつでも電話できます。

「ふくしま24時間子どもSOS」

0120-916-024

※県教育委員会ではHP等の掲載広告を募集しています。詳しくは 福島県教育委員会 広告

検索

ここから下の段は広告です。掲載の広告は県教育委員会の事業とは関係ありません。

0歳～18歳のお子様をしっかりサポート!

こども型

月掛金は 選べます
1,000円
2,000円

日帰り入院や手術を保障

ケガの通院も1日目から保障

第三者への損害賠償にも共済金



さらに 高額の賠償責任への備え 個人賠償責任保険もあります。 ※ご加入後にお申し込みいただけます。

思いやりの心から生まれた保障

県民共済

お問い合わせと資料のご請求は

共済取扱団体 福島県民共済生活協同組合

〒960-8031 福島市栄町6-6 NBFユニクスビル9F

☎ 0120-282-869

FAX 024(524)1400

【受付時間】平日 9:00～17:00

福島県民共済 検索

共済元受団体/厚生労働省認可 全国生活協同組合連合会